

平成30年10月1日

## 平成29年度熊本電子ビジネス専門学校 学校関係者評価結果

### 1 学校の教育目標

本校の三綱領である「進取」「明朗」「誠実」を教育理念の根幹におき、理事長、校長を中心とした指導体制のもと、スローガンに、時代を生き抜く「高い専門性」と「豊かな人間力」の育成を掲げ、全教職員が一丸となって、日々の一つひとつの教育活動を着実に実践し、常に先を見通す論理性や人間の機微がわかる感性を養い、総合的に富む真の意味で社会に貢献できる人材を育成する。

### 2 学校関係者評価委員会

- (1) 開催日 平成30年8月8日(水)
- (2) 時間 午後1:30～午後3:00
- (3) 場所 熊本電子ビジネス専門学校 A303教室
- (4) 出席者 評価委員 8名、学校側9名

#### (1) 教育理念・目標

学校関係者意見等	○中長期的な展望に立った高等教育機関における本校の立ち位置についてどう考えているか。
今後の改善等	○中長期的な構想の策定が満足いくレベルに達していない。大学が様々な形で変化していく中で差別化を図らなければならない。

#### (2) 学校運営

学校関係者意見等	○教員を含めた人材確保の取り組みはどのように行っているのか、また教職員の人事評価についてはどうなっているか。
今後の改善等	○教育機関において、教員の質、数の確保は大変大きな重要課題の一つであると考え。そのためにも、今後は企業との連携を更に深め、専門性の高い人材の確保に向けて取り組んでいかなければならない。また、人事評価については、能力・業績の両面から評価する必要がある。評価基準の明示や自己申告、面談等の仕組みにより、客観性を確保し人材育成につなげていかなければならないと考えている。

### (3) 教育活動

学校関係者意見等	○入学前に高等学校等で学んでいることが望ましい事柄はあるか。
今後の改善等	○語彙力や数的基礎能力があることが望ましい。応用的なことよりも、基礎学力がしっかりとできていればよい。

### (4) 学修成果

学校関係者意見等	○在校生数と退学率の相関関係は見られるのか。
今後の改善等	○在校生数が増えれば、退学率は上昇する傾向にある。退学防止には日頃より学生一人ひとりと十分なコミュニケーションをとることが必要不可欠だと考えている。 今後とも、担任を含め教職員と保護者との密接な連携を深めながら学生の適応指導に努めていきたい。

### (5) 学生支援

学校関係者意見等	○同窓会の活動状況について。 ○就職支援活動において、企業との連携状況はどれほどか。また、早期離職対策は行っているのか。
今後の改善等	○同窓会を立ち上げてはいるが活動が停滞している状況である。学校が力添えをしながら動かしていかなければいけないと感じている。卒業生が4000名を超えているため、活用が活かされれば、新規の企業開拓を含め就職や様々な面で良いのではないかと考えている。 ○早期離職の実態把握、インターンシップの充実、就職講演会の実施、企業見学、就職面接の充実等、あらゆる機会を通して早期離職防止に努めている。また、就職活動において十分なサポートが必要な学生については、外部専門機関と連携し卒業後も引き続き支援を続けている状況である。

## (6) 教育環境

学校関係者意見等	<p>○授業の円滑化、効果を向上するためにも、Wi-Fiを含めたネットワーク環境の充実を望みたい。</p> <p>○授業内容の効率化を図るためにも1人1台パソコンの購入を検討されてはどうか。</p>
今後の改善等	<p>○本年4月に全館各教室にネットワークケーブルの敷設は終了した。Wi-Fi環境は、次年度に設置する予定である。現状、学生のネットワーク利用に関しては、活用に係る指針が固まっていないため教員の監視下、授業でのみ活用している状況である。</p> <p>○特に情報系の学科については、教育的な観点からだけなら1人1台のパソコンを購入させることが望ましいと考える。ただ、購入費用等の面から保護者等への配慮も必要である。一方、学校の現状としては、通常教室でのパソコン利用環境の整備に向け取り組んでいるところである。</p>

## (7) 学生の受入れ募集

学校関係者意見等	<p>○学生募集は適切に行われていると感じる。医療系においては人材不足が顕著である。医療事務科においても男子学生の募集対象になるのではないかと。診療科や職種によっては男性だと難しい場合もあるが、十分にニーズはある。</p>
今後の改善等	<p>○高校生等からは男性の医療事務は就職ができるかと不安の声がある。業界の現状動向をオープンキャンパス等で生徒たちにきちんと伝え、適切な進路選択ができるよう対応していきたい。</p>

## (8) 財務

学校関係者意見等	<p>○在校生数の減少により財政基盤は安定していると言えるのか。</p>
今後の改善等	<p>○財政基盤の安定化のためにも学生数の確保は重要事項である。ひいては学生へのより適切な教育環境の提供にも繋がる。引き続き明確な説明責任が果たせるよう財政基盤の安定を図っていきたい。</p>

## (9) 法令等の遵守

学校関係者意見等	<p>○情報公開の方法・手段について。</p>
今後の改善等	<p>○自己評価並びに学校関係者評価の情報は本校ホームページ上で公開している。今後も適切な情報公開に努めていきたい。</p>